



地域のこれから in 魚住東

市民と市長との対話のきろく

「現在気になっていること」「市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと」

17号池魚住みんな公園の整備

内容

- ・みんな公園の前に横断歩道を設置してほしい。
- ・みんな公園に防犯カメラを増やしてほしい。管理人不在時が不安。

参加者より

もともと地域住民側から、横断するのは危ないのではないかと
いう声が上がっていた

市より

- ・横断歩道は、信号待ちのスペースがないと公安委員会の許可
がおりない。一方で、歩道橋は、設置する土地(スペース)をどう
するかといった問題もある。
- ・管理人不在時の状況は市役所の方で確認してみる

タウンミーティング後に実現したこと

➡ 2026年3月に、防犯カメラを1台追加設置した。(都市局
公園・海岸課、総務局 総合安全対策室)

中高年への支援の充実を

内容

- ・子育て世代に対する「手厚い支援」が目立っている。中高年へ
の支援を充実させてほしい。
- ・高齢者に対する仕事の支援をしてほしい。

市より

- ・高齢者支援の予算は68億円(財政白書P20掲載)。一方で子
ども医療費に係る予算は22億円。母数は異なるが、実は高齢
者支援も手厚い。
- ・インフルエンザ予防接種の65歳以上無料化を実施しているの
は、県内では明石市と朝来市のみである。年間1億円程度かけ
ている。
- ・フレイル予防などにも力を入れており、今後も進めていく予定。

高齢者支援・独居者への見守りの充実

内容

- ・転倒の恐れもあり、高齢者はゴミステーションの掃除が難しい。
- ・独居者の見守りだが月に1回では見守りにならないのではな
いか。
- ・近所のつながりがなくなってきている。高齢者と若者との交
流もない。

参加者より

- ・老老介護の世帯なども増えており、地域としても災害時の個
別避難計画の策定に取り組んでいる。
- ・日々のつながりづくりが重要。まち協や自治会と一緒に取り
組んでいきたい。

市より

- ・個別避難計画の策定を急ピッチで進める一方でサポートする
人材の育成も進めており、養成講座を受講した避難サポーター
約300人が生まれている。日常の見守り体制につなげていき
たい。
- ・市内には様々な居場所がある。市民の皆さんにお知らせでき
るよう、市内の居場所情報の周知について検討している。

町名がわかりにくい

内容

魚住は町名が飛び地になっている地域が多く、校区防犯情報な
どもどれを見ていいのか悩む。

市より

行政側でも現状を把握してみる。町名については、広域で整理
が必要。

タウンミーティング後に確認したこと

飛び地になっている町名は他地区にもあり、理由は様々。変更
すると、数多くの住所変更手続が必要になり住民の皆さんの負
担も大きい。(都市局 都市総務課)



多世代交流の場を

内容

多世代交流の場を作ってほしい

参加者より

魚住小学校区では、魚住まちづくり協議会が「元気アップサロ
ン」や、多世代と一緒に食事する「みんなdeごはん」などを実施
している。他の校区からもぜひ参加してもらいたい。

市より

現在、市内の居場所情報の周知について検討している。

難聴児の支援

内容

難聴児の支援はロジャー(デジタルワイヤレス補聴援助システ
ム)だけでいいのか。文字化の支援は必要ないだろうか。

市より

一人ひとり状況が異なる。声を聴かせていただきながら対応し
ていきたい。今後も声があれば、障害福祉課へ伝えてほしい。



地域のこれから in 魚住東

市民と市長との対話のきろく

「現在気になっていること」「市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと」

ボランティアの継承・育成

内容

- ・ボランティアの継承。
- ・魚住駅周辺の図書館やみんな公園を活用し、市役所が先導してボランティア教室(塾やスポーツ体験教室)を実施することで子育て世帯に人気の地域にする。空き家問題解消につなげる。

市より

明石市では本のまちビジョンを策定した。市内図書館が居場所と活動の拠点になっていけばと思っている。市民の皆さんの活動拠点にしてほしい。

PTAがなくなるとどうなるのか。

内容

PTAがなくなるとどうなるのか。地愛協や地人協、まち協など他団体との関わりはどうなっていくのか

参加者より

- ・魚住小学校区のPTAは、2026年度から休会することとなり、今後のあり方については地域と協議中。錦ヶ丘小学校区のPTAは継続予定。
- ・どの地域もなり手が不足している。コミュニティ・スクールの動きと連動できれば良い。

市より

市内全体を見てもPTAのあり方を模索している校区が出てきている。事例を共有していきたい。

子どもたちが住み続けたいと思う魅力づくり

内容

子どもたちが地元で就職するための魅力づくりを、今後工夫して行ってほしい。

参加者より

地元での就職支援は重要である。

市より

- ・明石市では13年連続人口が増加しており、子育て世帯の転入が多い。地元企業の魅力発信をしていきたいと考えており、現在、市長・副市長で地元企業を訪問し、声を聴いているところ。
- ・明石市では、中小企業に就職した場合、奨学金の返済を支援する制度(明石市中小企業奨学金返済支援事業補助金)をつくるなど、地元で就職してもらうための魅力づくりに取り組んでいる。



JR魚住駅前の活性化

内容

- ・魚住駅周辺には居酒屋は数軒あるが、家族で食事できるような店がない。
- ・魚住駅の北側ロータリーは信号がなく見通しが悪い。事故がいつ起きてもおかしくない。
- ・魚住駅北側ロータリーに一般車両の停車スペースを作ってほしい。バス停とタクシー乗り場しかなく困っている。バスの休憩には、駅ロータリーではなくみんな公園等を活用してほしい。
- ・魚住駅北側から国道2号線にかけての歩道に、雨除け屋根を設置してほしい。大雨のとき雨水の流れが激しく、転倒のリスクがある。ベビーカーを押す人も上り坂で傘がさせないので、ずぶ濡れになる。
- ・花壇づくりをしており、ボランティアと運営している。
- ・魚住駅前を若い人の創業の支援拠点にしてはどうだろうか。

参加者より

地域みんなで新たに創業した人の応援をしていけると良い。

市より

- ・コープ2Fのようにまだまだ知られていない使える場所もある。
- ・明石市には、創業支援のための助成制度(明石市チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助金)がある。活用してほしい。

コープの2Fの活性化

内容

- ・コープの2Fの活性化を図ってほしい。
- ・コープの2Fがさみしい。「なきすみ」はあるけれど、使っている人を見たことがない。
- ・JR魚住駅前は、他の市内JR駅前より淋しい。コープの2Fはほとんど店が入っていない。

参加者より

「うおずみんふるさと創生プロジェクト」では、まち協やPTAを巻き込んでやったがコープの2Fでも活動してきた。その結果、交流スペースを作り、バザーや日本語教室、ウクレレ教室などが始まっている。もっと情報発信していきたい。





地域のこれから in 魚住東

市民と市長との対話のきろく

「現在気になっていること」「市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと」

観光名所を大切に

内容
観光名所を大事にしていきたい。長坂寺跡や金ヶ崎山頂などをせめて初日の出だけでも開放してほしい。

参加者より

- ・金ヶ崎山は標高84mあり、元旗振山で江戸の米市場だった。
- ・金ヶ崎山の裏(神戸市側)にまわると初日の出が見られる。

ため池の活用

内容
農業用としての役割を終えつつある。防犯上不安。水と親しむ場所にできないだろうか。

参加者より
野鳥がくることも多い。ため池には、水害を防ぐという機能もある。

市より
市内でも活用事例があり、高丘など参考になるものもある。

公共工事を市内業者へ

内容
公共工事で市内の業者に優先的な発注条件を出してほしい。

たこバス

内容

- ・たこバス寿優待券の無料パスに回数制限ができると聞いたが本当か。
- ・金ヶ崎地区には、近くにスーパーがなく、特に高齢者は買い物難民になっている。たこバスは1時間に1本しかないため、とても不便。もう少し便数を増やしてほしい

市より

- ・現状、寿優待券に回数制限を設ける話は特にないので、安心して使ってほしい。
- ・現在、たこバスの運行費に2億5千万円の予算がかかっている。人件費や燃料費が高騰していることから、今後さらに予算がかかってくると思われる。たこバスの要望はどの地域からも聞いており、市役所内でも考えているが、予算の問題もあり、そう簡単に増やすことはできない。維持するためには利用が必要なので、もっとたこバスを利用してほしい。
- ・デマンド交通(乗り合いの公共交通サービス)などの情報も集めているところであり、地域と連携した移動支援のあり方も考えていきたい。

